

自然教室だより

3月・春の奈良公園自然観察会報告

辻本信一

平成 29 年 4 月 4 日 (火) 奈良公園にて桜見物を主とした自然観察会を実施しました。参加者は 14 名。今年はこのほか寒い日が続く、奈良県では例年より 5 日遅れて観察会前日やっとソメイヨシノの開花宣言が出ました。それでもところにより八分咲きのソメイヨシノが楽しめました。

特に三条通沿いでは興福寺の桜が土産物屋の屋根越しに枝を張り出し私達の目を引きました。



【朝の集合】



【ソメイヨシノ】

奈良公園では 3 月末頃より 1 ヶ月近く早咲きから遅咲きまで多くの種類の桜が楽しめます。春日大社一の鳥居を過ぎた料理旅館「江戸三」周辺ではエドヒガンがこの時期満開を迎えました。

今回の観察会では桜の花の各部をルーペで詳細に観察、同定に花の萼筒がくとう（萼片からつながる筒の様な形の部分）や花柄の根元に付く苞ほう（開花前の花の蕾を保護していた特殊な葉）に注目、エドヒガンとコヒガンでは明らかに萼筒の壺状部分の大きさが違い、参加者の皆様にも自身の目で確認し納得していただきました。



【エドヒガン】



【コヒガン】

特に浮雲園地東側の新公会堂内の庭では、手頃な高さのコヒガンが満開を迎えており、その姿をジックリと観察できました。

浮御堂のある鷺池北側ではコブシとハクモクレンの花が満開を迎え、艶を競っておりました。

どちらも花卉の数は 6 枚ですが、ハクモクレンの方は花卉に似た白色の萼片 3 枚が加わり花卉 9 枚に見え、コブシの 3 枚の萼片は緑色で小さく花卉 6 枚だけが目立ちます。



【満開のハクモクレン】 【氷室神社シダレザクラ】

またこの日は行く先々で小鳥達の出迎えがあり私達に本格的な春の到来を感じさせてくれました。私達の心も浮き立ちます。



【コゲラ】



【シジュウカラ】

春日野園地北東角の橋を渡った先には早咲きのヤマザクラがしっかりと開花。ここでは花柄下部のくさび形の苞がくとうに注目。その先端に小さな鋸歯のぎざぎざ（葉のギザギザ）があるのを確認しました。

観察会終盤には戒壇院入り口付近の石段下に密生するキランソウや人知れず健気に咲くノミノフスマ、ノミノツヅリを発見。その可憐さに思わず溜息が漏れました。



【可憐なノミノフスマ】 【お疲れ様。戒壇院下】

こうして楽しかった時間もアツという間に過ぎました。今回も天候と仲間にも恵まれ、素晴らしい観察会となりました。次回は皆さまも是非ご参加ください。（写真は HP でお楽しみ下さい。）